

NO. 44 視聴覚教育 月報

発行日 53. 7. 3
 発行所 岡崎市AVL
 編集者 編集委員会

普及するカラーテレビ (中学校)

市内における中学校のカラーテレビの保有数は、年々著実に増加しています。昭和五十二年度の調査によると、全受給備えつけの学校も、三校(城北、常磐、香山)ありました。

なお、本年度、美川中学校では、二十一学級全部にカラーテレビを備えつけたのと同時に、カセットビデオコーダー四台を購入して、英語等の教科学習や校内の一斉放送に利用している。

市内中学校カラーTV保有状況

保有率	学校数
100%	3
80~99	0
60~79	1
40~59	0
20~39	4
10~19	4
10以下	2

⑤
 保有率 = $\frac{\text{TV台数}}{\text{総学級数}}$

保有数は、学校間格差が大きいいえませんが、利状況から見ると、たとえ台数は少なくても利用頻度の高い学校もあります。利用者の熱意が保有率の増加につながるものと思います。

他の都市とのカラーTV保有率の比較(中学校)

都市	カラーTV保有率(%)
岡崎	29
碧南	45
刈谷	13
豊田	12
安城	10
西尾	12
高浜	7
知立	20
豊橋	8
豊川	7
蒲郡	46

⑥
 保有率 = $\frac{\text{カラーTV台数}}{\text{総学級数}}$

視聴覚主任実技研修会に参加して

城南小 太田 裕子

主任とはいえ、視聴覚機器については、ほとんど知らないという状態でした。特にOHPやVTRなどは利用する機会が多いのにもかかわらず、その整備については全く知りませんでした。しかし、この実技研修会に参加して、基本的な方法についてはよくわかりました。きっと同じような問題をもっている新任教員も多いと思います。まだ、むずかしいとは無理ですが、これからの足がかりになりました。

鏡利用を通しての

とび箱運動の実践

藤川小
酒井 理子

VTRの鏡利用で二年の体育「腕立てとび上がり」とびおり」を指導しました。

VTRの機械操作は、名称やコードの接続を覚えるのに何日もかかり苦労しましたが、なんとか操作できるようになり授業に取り組みました。テレビから自分の姿を見て喜んだり驚いたりする子どもの姿は、ほほえましいものです。私自身、機械操作が未熟であったため、機械に氣をとられ低学年のもつ遊び的要素を充分生かすしかなかった。たきらにはありますが、児童の素朴な喜びは、体育指導に有効であり、また、この授業を通して、視聴覚機器を天いに活用できると大変勉強になりました。



放送教育研究と写真ハミリ研究サークル

気軽に二参加下さい。詳細は視聴覚主任へ

夏季実技講習白会のお知らせ

・16ミリ映写技術者養成講習会 7月29～30日

働く婦人会館 (認定証未取得者会員)

・OHP実技講習会 8月1日

働く婦人会館 (希望者 約80名)

・VTR実技講習会 8月2日

連尺小学校 (希望者 約60名)

・校内放送研修会 8月中旬 A/V主任を中心に予定

次のような機材が入りました。

◎テーププリンター

カセットテープを高速でコピーする機械、一時間テープもわすか四分でOKです。

◎クビノコ16ミリ映写機

明るい画面は、大会場で上映する時偉力を発揮します。操作は、普通の映写機と多少異なります。

◎ビノファクス 180型

単色カラーの作成、原紙作成等印刷のついでにできます。

